繪圖見西行四編上巻

京山作　國貞画

へ13
3ヲ14
4

絵図見西行上四編
京山作
國貞画
竹四編下巻
辛丑春

へ13
3744
4

凹硯禿筆倉卒に草を起し諧謔偎褻唾たきたべき物居賈春
おく瑤篇と為し以梓に上せ一梓鼓販きたべ翔を奮て海内
翔る錦堂に上り蓬囱に入る方眼之を閲し千目之を播く流傳焉
以て篇者の幸とし以居賈の福とす然るに一冊元
益の銭一外右益の米を買べし篇者の罪焉より大なるに莫し是我
以凹硯を砕き禿筆を焼んと欲す筆硯慷然として人語を為く
云何誠なる玉勃い筆に耕て食ひ心に機て衣る筆い汝ぞ耕器硯い
汝を砕き之を焼資化貨何より来乎必枯魚の悔あら
ん哉孔聖童謡を誦し班氏巷説を取る災我ら兄弟に下さんと
勿れ筆硯大に笑へと黒涙を流を余案を拍て大に笑ひ唾たきたべき物を
挙て居賈に投ぜ

天保十一子年春脱稿
冬霞行

山東菴京山識

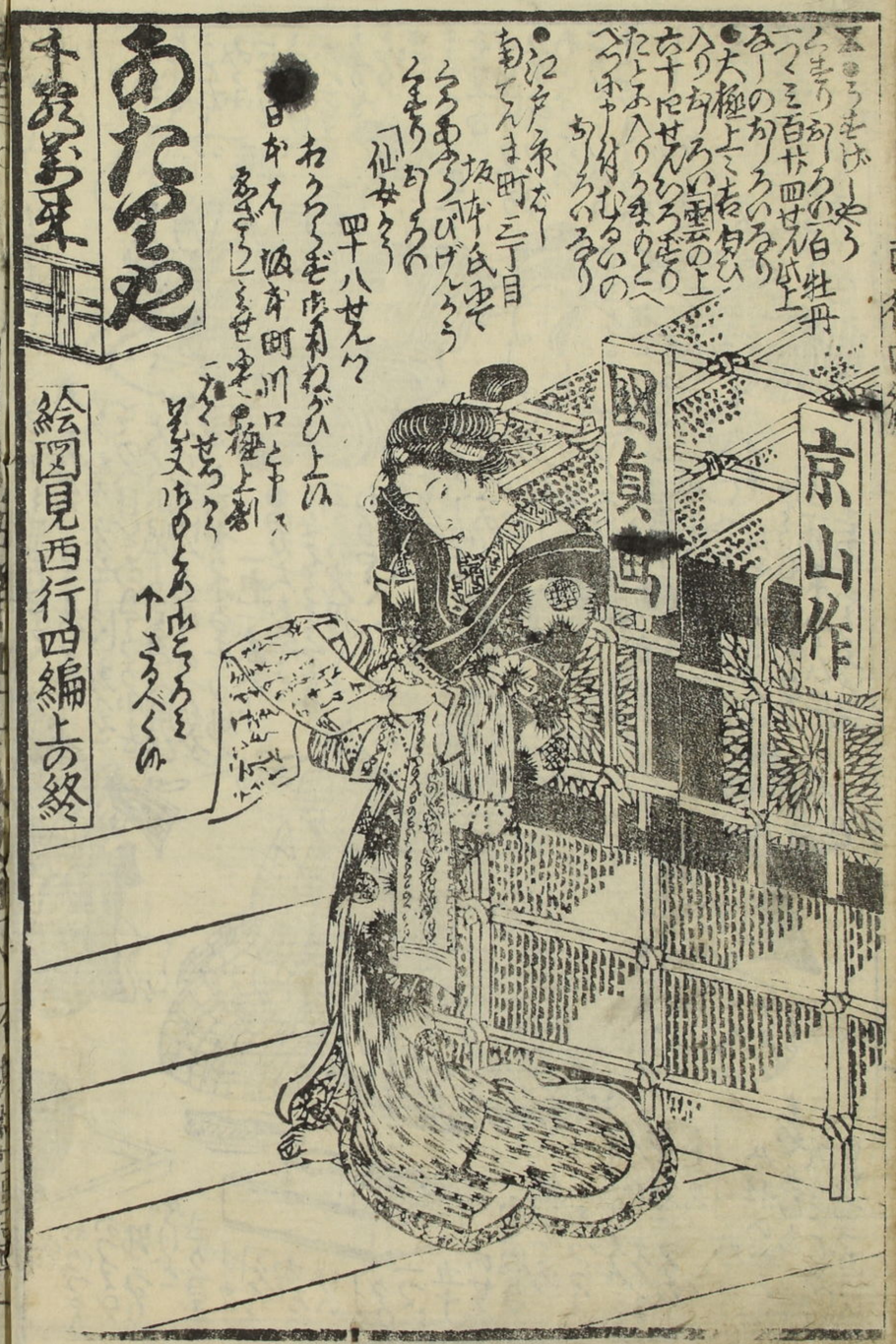
望月判官別館に於曲水の宴を学

絵図見西行四編上

第一 紅川ろ吉たび立

第四
甲州中の辻だち

有五小つゐ
おりでや
八用



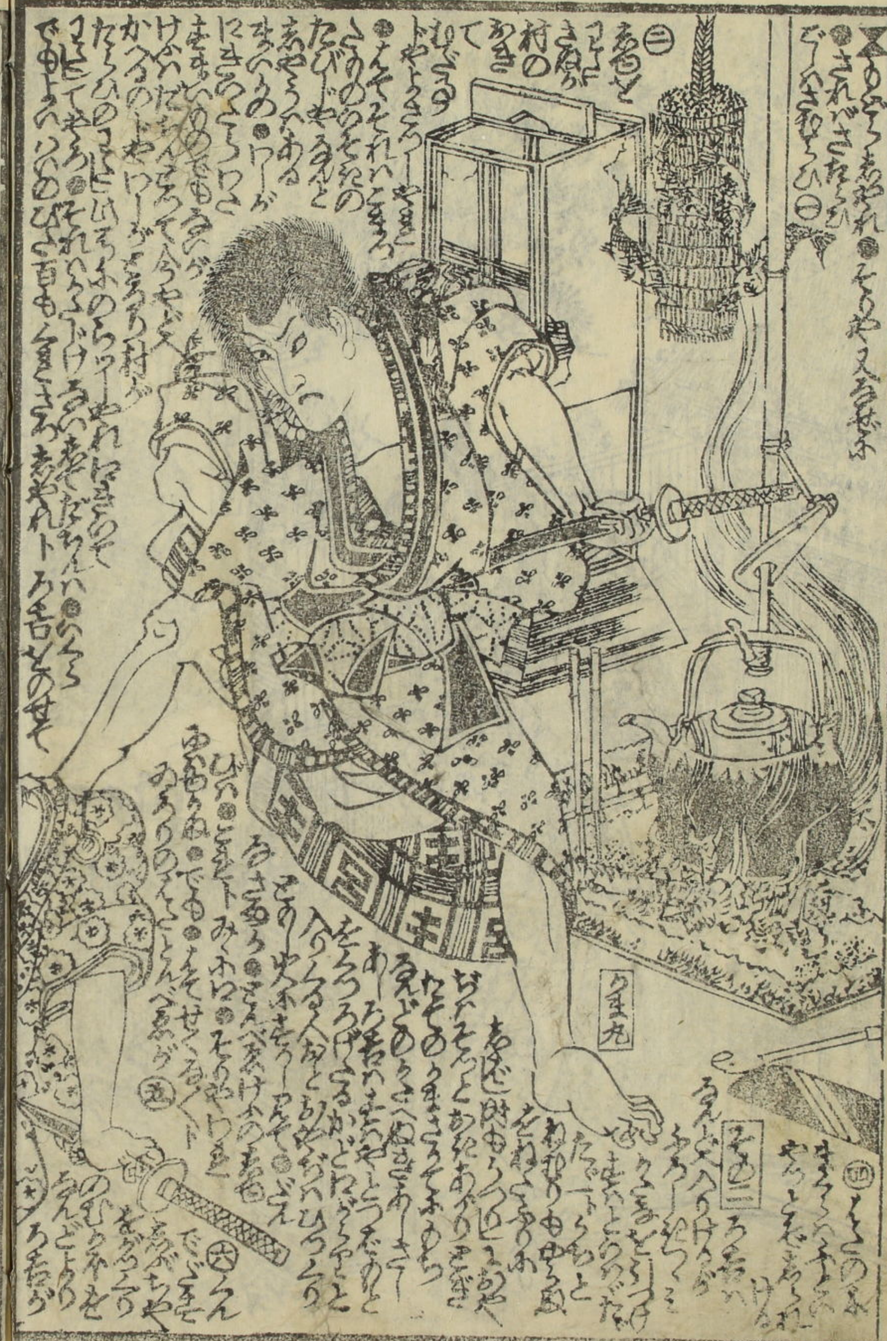
鶴堂仕入諸品御披露

○極彩色摺東海道五十三次全画
中奉書切
上彩色摺東海道五十三次全図 廣重画図
右同形
○奉書類繪半切御進物御箱入數品御好次第
○東千代紙御進物御箱入御望次第
○鳥皮紙類御進物御望次第仕立上り
團扇御誂物御好次第 團扇繪草紙問屋
極品さくらかう 日本橋 坂本田 川口製
佐野屋喜兵衛

絵図見西行四編下冊
恋木の女中川ぞめおそうとう
川面
東海道
うち吉かえた
西行四編
廿二

西行四編

㊀馬をひのてきさり
あらぶのかぞぢ
やくひうとんりゞ
こまろてたゝひとゝ
まろゝうゝあるのつ㊁
㊂


くまもん

ごんべえ

こんぺいこ
かまた
ろ吉

佐々木たろうる
四の巻八

三の巻九
ろ十四
つぎへ

五吉
佐々木たろう

ちち月たゞをん

ろ吉
ちろねのゆ

豆丸
豆丸が母菊寿めん
ろ吉の父

ろ吉

墨川亭雪麿作
傾城三國志五篇八冊 西国奇談
香蝶楼国貞画

初編外題 繪図名所杖 改初編五篇 上帝立 住吉住吉 五柳亭徳升作
勇斎国芳画

山吹の瀬 桜ゥ岡 繪圖見西行 四篇五篇
東国奇談 月弦夜櫻 五柳亭徳升作 二篇六冊
一勇斎国芳画

山東庵京山作
香蝶楼国貞画

旅文美人傳 山東庵京山作
曹次郎説 琴聲美人録 初編四冊 二篇四冊
香蝶楼国貞画

春もやく景色ぞろへ 墨川亭雪麿作
釣花遊梅三日月 四冊
渓斎英泉画

空俗侠素群談 十冊 楽亭西馬作
香蝶楼国貞画

美艶仙女香四ー糸ゑ事ゑ事ゑ事ゑ 江戸芝神明前二丁目 鳥明屋
黒油美玄香 八ゼン 坂本氏製 取次所

繪本楠一代記 五冊 鳥有散人作
歌川国芳画

地本錦繪問屋 東都国扇
喜鶴堂佐野屋喜兵衛